

## ○環境共生地域学特論 I (2 単位)

担当者氏名 上岡洋晴

## ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

環境と共生するために、あるいは地域社会で健康に生活し続ける上で、重要な疾病予防を考える。その際に、不可欠なのが、疫学・臨床研究である。疫学・臨床研究は、国際的に学問体系が構築・統一化されているので、それを足がかりとして人の環境共生のための健康問題を考える。最終的には、基本的な研究方法論を習得することを到達目標とする。

## ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

介入研究                      観察研究                      臨床研究                      因果関係  
誤差                              疫学指標                      スクリーニング

## ◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	環境共生地域学としての疫学 (第 1 週)	健康課題の把握と定義	本講義のねらいは、地域社会における様々な健康問題を解決・対処するための基礎知識として、疫学・臨床研究の基本を学ぶ。時事的な問題も取り上げて、より社会と密着した学問分野であること確認すると共に、アプローチ方法を習得する。予習・復習は共に、それぞれ少なくとも 1 時間は行うべきである。
2	介入研究と観察研究 (第 2-6 週)	研究デザインその特性	
3	因果関係 (第 7 週)	因果関係の正しい導き方	
4	誤差 (第 8 週)	各種のバイアス	
5	疫学指標 (第 9-12 週)	基本的な数値の理解	
6	スクリーニング (第 13-14 週)	スクリーニングの特性と評価方法	
7	総括 (第 15 週)	まとめ	

## ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)  
疫学／日本疫学会編／南江堂 (2004)

## ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)  
講義の際に随時紹介する。

## ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

課題レポート及び授業中のディスカッションにより総合的に評価する。

## ◆オフィスアワー

通年で、毎週月曜日と木曜日の終日は研究室で、その他はメールで質問を受け付ける。

## ◆その他受講上の注意事項

自分の研究に関係する最新の論文の研究デザインに常に興味を持ってほしい。